



ひよこぐみだより

平成24年6月1日発行
石田、岡、北原

5月に入り新しいお友達が2名増えました。少しずつ園の生活にも
馬川 菜みより笑顔もよく見られるようになりました。また小さい子供達なのでおうちの方と
連携をとりながら毎日の充実した日々を過ごすよう取り組んでいきたいと思ひます。
又、体調の変化等 いっしょに様子やちがうなと気が付いた事が有りましたらご連絡下さい。



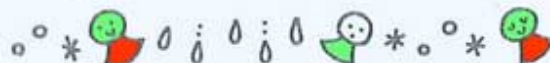
6月の保育目標

- ・ 気候の良い日は外に出て散歩を楽しむ。
- ・ 保育士や友達と好きな遊びを楽しむ。



◎ お部屋の様子

・ 一日一日子供達の様子を見てると日々成長している事を感じます。小さい子は首もすわり
抱っこするとキョロキョロといろいろな所を見ようとして見ている。また笑顔で喃語を
たくさんお話しできるようになりました。大きい子は手遊びが大好きで歌と一緒に体を
左右に揺らして手をたたいたりして楽しんでいます。模倣遊びが大好きな子は「ママさん」と
言くと手をブラブラさせたりいろいろな動物のまねをするのかととても上手な子もいます。
一入一入が好きな遊びを楽しんでいます。



◎ 食事の様子

・ この2ヶ月と体も少しずつ大きく成長すると共に 食事の量やミルクの量なども徐々に増えて
いきます。給食はどの子も楽しみにしていて配膳すると手をたたくて喜びます
又、月齢の大きい子は手を合わせて「いただきます」の挨拶をしてから食べる子もいます。
また一口食べるとニコッと嬉しそうに微笑む子やみんな食べる事が大好きです。



◎ お散歩の様子

・ お天気の良い日は、りすみさんと一緒に散歩に出かけます。4月当初はひよこぐみでゆたに
お散歩に行っていました。最近はお部屋でもよく遊ぶようになりました。一緒に活動する事を楽しんで
います。手をつないでもらったり話しかけてもらったりするととても嬉しそうなお表情を見せています。
お天気や気候の良い日は月齢の小さい子と一緒に散歩に出掛けたいと思ひます。



りずみだより

平成24年6月1日発行

坂・伊藤・松永・三島

目標: 様々な遊びを通して友達と一緒にいる事を好む。



りず組がスタートして二ヶ月が経ち、園生活にも随分馴染んできた子ども達。最近り友達との関わりが見られると共に、「○○君!!」「○○ちゃん!!」と名前を呼び合う姿も見られるようになりました。

又、お散歩に出掛けると、あやちゃんとう虫を見つけて、「あ!!」と指差しをしたり「お、た」「見て」と友達に伝え合う姿も見られます。指差しや片言で、一生懸命表現し相手に伝えようとする姿がとてもかわいらしく微笑ましい光景です。こうして嬉しい事を友達に伝え、同じように思いを共感し合っている、仲間意識への第一歩が始まりました。いっくぞいっくね。



〈ミニ運動会に向けて〉

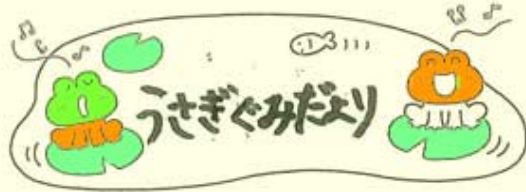
今年度のミニ運動会では、おいらんおはあちゃんと一緒にかけこをし、途中で保育士にタッチをしてゴールする競技を企画しました。子ども達は、朝登園がお家の人とバイバイする時や、帰りに保育士とさようならをする時に、ニコニコ笑顔でタッチが出来るようになりました。今回競技に取り入りました。リハーサルではおいらんおはあちゃん達と一緒に準備体操や競技に喜んで参加する姿がありました。保育士の動きをよく見て体を動かしたり、小さな体で一生懸命走ったり、かわいらしい子ども達の姿を、おいらんおはあちゃんに見て頂き、ゆたたりとした時間を過ごして頂くたく思います。



〈描画をしたらよ〉

室内、園庭、ベランダ...と色々な環境の中で、描画を楽しんでいます。園庭では異年齢見聞クラスのおいらんおはあちゃんと一緒に描く事もあり、おいらんおはあちゃん「この色とこの色を混ぜたら○色になるやい」と実際に色を混ぜてもらい、色が変わるのを、不思議そうに見る子ども達の姿が、ありました。絵の具の色がぬすれてくると、自分で絵の具をつくれるようになる、たりと、何れも経験する事で、日々色んな事を吸収しています。また、言葉には出さなくても、1本の線を描くだけでも、子ども達には色んな事を感えているのだと思います。そんな子ども達の気持ちに共感し、これから絵の具で表現する事がおもしろさを伝えていきたいと思っています。





平成24年6月1日 発行

早川、穴澤、
村山、田中

5月に入り、お天気の良い日には「外行く!」と子どもたちで帽子を出して
戸外での活動を楽しめる姿がありました。雨の多い梅雨に入る前に、天気の良い日は
少しでも戸外での活動を取り入れていきたいと思ひます。

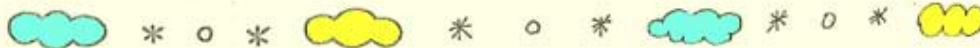
今、うさぎ組では、お休みの後には、子どもたちが前に出て、休みの間にあった出来事を
話す機会を作っています。GW明けには、子どもたちにお集まりの時間を使って
前に出てきてもらい、発表してもらって「ママとハワイと〇〇行った」と嬉しそうに話す姿が
ありました。これからもこのように自分の気持ちを伝える場を作っていきたいと思ひます。

* 6月の目標 *

- ・保育士に手伝ってもらったり、見守られたりする中で身の回りのことを自分でしようとする。
- ・保育士や友達とかわり、戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。

🍅 トマト栽培について 🍅

5月8日にミニトマトの種まきをしました。子どもたちに真近で植物の育ちを見て「食に関心」を
持つ、谷間という思いで行いました。初めての経験に夢中になって種をまいたり、
毎日、水をあげては、「芽が出てるかな。」と様子を見に行く姿がありました。
水やりの時には、「トマトさん、かどわいてたんかな?」と心配する姿や芽が出ている外を前に
子どもたちで「がんばれー!」と応援する姿など可愛らしい可愛い発言も見られ、
ミニトマトの成長をとても楽しみにしていました。17、27と芽が出始めると「あ! ニニニ!」と
声を上げて喜びを伝えていました。ミニトマトは、芽が伸び、順調に育っています。



● ミニ運動会への練習 ●

* 以前から子どもたちはかけこが大好きで、園庭に出るとお友達や保育士と
一緒に「ヨーイドン!」を喜んでする姿がありました。そこでミニ運動会ではかけこを
取り入れる事にしました。練習をする中でスタートの前にお名前を呼ぶと
嬉しそうに「はい!」と返事を返す姿や笑にかかった、魚やくだものを
「どれにしようかな?」、「さかな、ヒリたい!」ととる前から楽しんでいる様子が
ありました。6月2日の日には、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に出来る事を
今から心待ちにしています。



・これからの季節は朝や夕方には、まだまだ涼しい日もあるので体調管理に気を付けていきたいと思ひます。





ピノキオぐみ
ねんしょうだより



平成24年
6月18日発行
山本真帆帆



* 梅雨の時季の自然にふれる。

* みんなでおこなう活動に興味をもって参加する。



〈子どもたちの様子〉

5月に入って園庭では、ダンゴムシやアリ、カエルやカタツムリなど、たくさんのお虫たちが顔を覗かせています。年少の子どもたちの多くがトマトパックを片手に虫探しに夢中です。

毎週水曜日は年齢別で過ごし始め、最近では『〇〇ちゃん(くん)と〜したよ』のように、子どもたちから友だちの名前をよく耳にするようになりました。クラスの枠組を越えた年少同士の関わりが増えたことで、また1つ友だち関係が芽生えつつありとても嬉しく思います。朝の登園時に涙を見せても、遊んでいる友だちの中に溶け込み、笑顔で過ごすことも多くあります。“保育士”や“友だち”という自分の居場所があることの大きさをを感じる日々です。

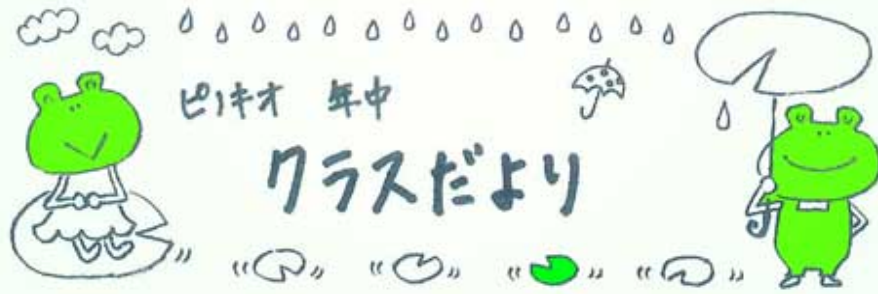
ピノキオ組では9つのグループをつくり、集まり・給食・おやつの際はグループで回って座るようになっていきます。大きい子にならって、足をお山のカタチにして座る、“お山座り”をして保育士の話を聴こうとしたり、誰よりも大きい返事をしようとかいっぴいの声を出そうとする姿もあり、遊びの場面以外でも大きい子の姿からたくさん吸収しているようです。



6月2日(土)に開催のミニ運動会は、年少組になって初めての全体行事です。年少児の競技は『大バトンリレー』です。おじいちゃん・おばあちゃんと一緒にできる準備を楽しみに、頑張って、今まで練習をしてきました。

当日は大勢を目の前にしておじけづく子も中にはいるかもしれませんが、今の子どもたちの姿を見て頂けたら嬉しいです。





トトロ 年中

クラスだより

平成24年6月1日発行
黒宮 由佳



6月の
目標

- ◎興味を持った遊びや活動に、自分から取り組む。
- ◎梅雨の季節の身近な自然にふれる。

5月、新しい環境に馴染んできた子どもたち。天気の良い日には、ほとんどの子が園庭に出て、泥だんごを作ったり、ダンゴムシをつかまえてりと、夢中になって遊ぶ姿がみられました。これらの遊びは、私たちが教えたわけではなく、子どもから子どもへと自然に伝わり、広がっていきました。子どもたちの中で遊びが広がり、その遊びに夢中になれるということは、とても良いことだと思います。これからも、もっと色々な遊びが、子どもたちの中で、広がってほしいと思います。

ミニうどん会に向けて

今、子どもたちは、6月2日のミニうどん会に向けた活動をしています。年中ぐみの競技は、「みんなが倒ろう！ダンボールタワー！」という、積み上げられたダンボールに玉を投げて倒すという競技です。始めの頃は、無我夢中に玉を投げる姿が多くみられましたが、何度も練習するうちに、ちゃんとダンボールのタワー目掛けて玉を投げる姿がみられるようになりました。ミニうどん会本番では、練習の成果を發揮して、おじいちゃん、おばあちゃんたちと楽しく競技に参加することができればと思います。

年齢別活動

5月から、週に一回の年齢別活動が始まりました。毎週水曜日は、トトロ、トトロの年中ぐみで活動します。セッティング保育を始めたことや、クラス替えをしたこともあり、トトロ、トトロの間の壁はなく、117もと違う雰囲気集まりや給食、活動に、子どもたちはみんな嬉しそうにしていました。年中ぐみだけで活動するという、今までにはなかった時間なので、子どもたちが色々な経験ができるよう、お出かけに行ったり、子どもたちが楽しめる活動を計画して、やっています。





平成24年6月(日)
発行
はがさわ保育園
片岡 渚



- みんなでおこほろ活動に興味を持って参加する。
- 梅雨の時季の自然にふれる

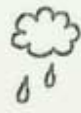


子どもの様子

5月も終り、保育園生活にも慣れ、好きは遊びに夢中にほろ姿が出てきました。また、てんとう虫、カタツムリ、ダンゴムシ、カエルはどたくさんの生き物に興味を持ち、虫探しを夢中にほろ姿がありました。年中、年長のお兄さん、お姉さんに、始めは一緒に探してもらい、ていたのですが、ダンゴムシは「右の下にいるよ」と学んでいき、年少児だけで見つけることが出来るようになってきました。また、「ダンゴムシさんは何を食べるの?」と不思議に思い、お友達と話をする中、お兄さん、お姉さんに「こういう葉っぱ(落ち葉)たべとらんや」と教えてもらう姿もありました。日々の生活の中、どたくさんのことを考え、学んでいるのだと感ずる場面でした。

砂場では泥団子作りが大人気! ここでも年中、年長のお兄さん、お姉さんに作り方を教えてもらう姿がありました。始めはすぐに壊れてしまっていた泥団子も砂に入れる水の量を調節することで上手に丸を作れるようになってきました。

お兄さん、お姉さんの姿に刺激を受け遊びに取り入れ、学んでいくことは年少児にとって良いこととぞす。年中、年長児の力をかりながら、遊びの幅、知識をなげいて、欲しいと思います。また、「たのしかった!」と思え、夢中には、遊ぶ体験をたくさんして欲しいと思います!!



＊。ミニ運動会 ＊。＊。＊。＊。＊。
 ＊。おじいちゃん、おばあちゃんとの＊
 ＊。ミニ運動会に向け、スバトンリレーの＊
 ＊。練習をしました。スバトンリレーとは＊
 ＊。下はバトンを次の人へ渡していく＊
 ＊。競技とぞす。練習中から、おじいちゃん＊
 ＊。おばあちゃんと競技をするのを楽しみ＊
 ＊。にする様子がありました。本番も、＊
 ＊。楽しくぞすたらと思ひますので、＊
 ＊。よろしくお願ひします!! ＊
 ＊。＊。＊。＊。＊。＊。＊。＊。＊。＊。

手作りお弁当

年少さんにはり初めての手作りお弁当。ありがとうございまして!! 朝から、「もくお弁当?」と楽しみにする姿がありました。お弁当をあけた時は満面の笑みで嬉しいことがよく伝わりました。

トトロぐみ
ねんちゅうだより



ながさわ保育園
平成24年6月1日発行
平塚 未来



- 興味を持った遊びや活動に自分から取り組む。
- 梅雨の季節の身近な自然にふれる。

〈クラスの様子〉

6月に入り、新しいクラスにも馴染れてきたように感じます。子どもたちも友だちと元気よく遊ぶ中で明るい表情がたくさん見られるようになってきています。



遊びでは、園庭で大縄やロッククライミングに何度も繰り返し挑戦したり、泥だんごを一生懸命作ったり、カエルや虫を探す姿などが多く見られ、西の広場ではうんていやブランコなど園庭とは違った遊具で喜んで遊ぶ様子があります。しっかりと順番を待って、きちんと交代できる姿も見られます。

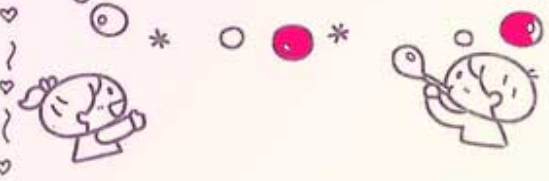
※年齢別※

5月から毎週水曜日は「年齢別の日」ということで、年中の子だけで集まりをしたり、給食やおやつを食べたりしています。子どもたちもとても嬉しそうな様子でピノキオぐみの子と仲良く遊ぶ姿があり、年中の子同士のかかわりが深くなってきているように感じます。歌唱指導も始まり、みんなとても楽しんで楽器を演奏したり、大きな声でうたっています。

※手づくりお弁当※

5月16日は手づくりお弁当の日で、西の広場で食べました。子どもたちにとって月に1回の楽しみでみんなニコニコでした。外で敷きものを敷いて食べるというのも子どもたちは本当に嬉しかったようで、「おいしい♡」と言いつつながら友だちと仲良く食べる姿がありました。朝のお忙しい時間に素敵なお弁当を作って頂きありがとうございました。

※ ミニうどん会の練習 ※
ミニうどん会の練習が始まりました!! 年中の競技は的当てで最初の練習では、ねらって投げるのが難しく、なかなか的に当たらずにだんだんねらって投げられるようになってきました。
* 玉を投げて的を倒すのが子どもたちにとってとても楽しいようで、練習もはりきっています。
* 遊びの中にも的当てを入れていけるといいなと思っています。





平成24年6月1日発行

安田 拓生
東 亜美
山田 一美

今月の目標

自分の思いや考えを出したり、友達の思いに気づいたりして、いっしょに遊ぶ楽しさを味わう。

リラスのようす



5月に入り、戸外活動もしやすくなり、子ども達も元気いっはい体を動かしてあそぶ姿がたくさん見られました。5月から歌唱指導も始まり、ライオンWeek、年齢別での活動の時間も多く、とても充実した一ヶ月になったのではないかと思います。

<5月8日 モクモクファーム>

・本当は潮干狩りへ行く予定でしたが、延期となったため、急遽行き先が変更しましたが、それでも子ども達は本当に喜んでくれ、ろづ々のショーや牛の乳しぼり、ポニーの乗馬など、普段はできない、様々な体験をしていくことができました。

<5月16日 木曾三川公園>

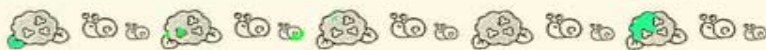
・保育園にはない大きな遊具や展望タワーに子ども達は大喜び!!手作りお弁当を本当に嬉しそうに食べる姿もとても印象的でした。帰りのバスではぐっすり眠っている子どもも多かったです。

<5月18日 霞☆ゆめくじら>

・宝島をイメージした『ゆめくじら』には、長いすべり台や船の形をした遊具があり、子ども達は大喜び!!「あれしよう!」「次はあっち!!」と、朝から夕方まで、一日中楽しんで帰ってくる事ができました。子ども達からも「また行きたい!!」との声が多く挙がっていました。

・これらのお出掛けに加え、東海自然歩道へのお出掛けや、おんべ川への散歩、お勉強ごっこなど、「年長児ならではの活動もたくさんできました。こういった経験や体験が、子ども達にとって様々な力を伸ばすきっかけ、体力作りへと繋がっていかれるといいなと思います。

これからできる限り、子ども達には様々な経験や体験、色々なことを感じ、考え、学んでいける機会をつくらせていきたいと思っています。



モクモクファーム



木曾三川公園



霞 夢くじら公園



東海自然歩道